

# 南信州広域連合第4回広域連合会議 結果報告

日時：令和3年7月20日(火) 14:50～16:15

場所：飯田市役所C棟311～313号室

## 【出席者】14市町村長、副管理者

〔南信州地域振興局〕丹羽局長

〔飯田建設事務所〕松下次長

〔飯田保健福祉事務所〕松岡所長

〔ひだまりの郷あなん〕三浦理事長・熊谷施設長

〔町村会〕岡庭事務局長

〔飯田市福祉課〕庭村課長補佐

〔飯田広域消防〕有賀消防長・下平次長兼警防課長・松下総務課長・宮内救助係長

〔環境センター〕飯田事務長

〔事務局〕吉川事務局長・加藤事務局次長兼総務課長・伊藤地域医療福祉連携課長

伊藤庶務係長・野牧広域振興係長・松澤庶務係主事

## 1 開会…14:50

## 2 広域連合長あいさつ

今週の23日に東京2020オリンピックが開催されるが、我々にとってはオリンピックよりも住民の皆さまの関心の高いワクチン接種への対応が喫緊の課題である。スピード感を持った接種を進めていこうとした矢先、既に報道でも承知のとおりファイザー社のワクチン供給が半減するといわれており、各自治体苦慮されていると思うが、住民の皆さまに心配、混乱を招かないように情報共有を密に調整していきたい。

その他、ひだまりの郷あなんの事業報告等、多くの協議・報告事項が予定されているが、円滑な進行にご協力いただくとともに、広域連合として、情報共有を深めていきたい。

## 3 協議・報告事項

### (1) ランドスケープ・プランニング共同研究講座について 【南信州・飯田産業センター事務局長】

～資料No.1～

\*本件については、令和2年の12月に広域連合会議で概要説明をしている。その後の協議の内容を踏まえて判明した点等を報告させていただきたい。

#### ア これまでの主な経過

- ・信州大学ランドスケープ・プランニング共同研究講座の運営を支援するコンソーシアムの設立に向けて地域企業を中心に準備会を組織し、南信州・飯田産業センターを事務局として検討を進めてきた。

(平成30年度)

- ・デザイン系高等教育期間コンソーシアム設立準備会発起人会

(令和元年度)

- ・第1～3回デザイン系高等教育期間設立準備会

準備会代表に(株)綿半ホールディングス代表取締役社長を選任。基本方針、支援体制、について検討実施。

- ・長野県知事への説明、信州大学と飯田市が包括連携協定を締結。

(令和2年度)

- ・南信州広域連合への説明
- ・第4回デザイン系高等教育機関設立準備会（講座概要、支援体制等について承認）

（令和3年度）

- ・第5回デザイン系高等教育機関設立準備会（講座開設時期の決定、コンソーシアムによる支援について承認）

#### イ ランドスケープ・プランニング共同研究講座の概要

- ・本講座はカリキュラムの位置づけとして、信州大学大学院総合理工学研究科農学専攻内に設置。
- ・開催場所は、エス・バードの信州大学南信州・飯田サテライトキャンパスとし、開講時期は、令和5年4月開講を予定。
- ・講座の課程と学生については、修士2年コースで1学年の定員3名を予定。
- ・教員については、特任教授1名と助教1名を配置する計画。リニア時代を見据え、地域の特色（自然、風土、環境等）を活かしたランドスケープ・プランニングの実務者を養成する教育プログラムの実現を目指すため、適任の教員を招聘するよう信州大学が人選を進めている。

#### ウ コンソーシアムの組織について

- ・信州大学の共同研究講座は、「教育研究のための組織であって、外部機関と共同して実施するもので外部機関からの受入経費により教育研究の実施に伴う諸経費を賄う」講座で基本5年間の有期講座。この外部機関が、「コンソーシアム」になる。
- ・コンソーシアムの目的は、①講座開設の準備、情報発信、地元と信州大学との調整。②講座運営に必要な資金の確保と運用。

#### エ 講座開講までのスケジュール

- ・令和3年7月～ コンソーシアム賛同者募集
- ・令和4年4月～ 専任教授着任、令和5年4月開講に向け準備開始
- ・令和4年7月～ 学生募集開始
- ・令和5年4月 開講

#### オ 今後の取組について

- ・工学部の「航空機システム共同研究講座」、そして農学部による「ランドスケープ・プランニング共同研究講座」の開講をはじめ、今後は教育学部等とも連携し、エス・バードの活用をしていくなど、当地域と信州大学との連携協力の輪を広げ、将来的には長野県の南の玄関口に「信州大学南信州キャンパス」が設置されるよう取組んでいきたい。

#### （主な意見等）

事務局長：広域連合としても、かつて高等教育機関の設置の研究に協同して取組んだ経過もあり、今回のコンソーシアムについても参画していきたいと考える。

高森町：運営費について、企業版ふるさと納税という制度がなくなった場合の資金等はどのように考えるか。例えば、大学院というきちんとした認証がとれれば国立大学の方から負担していただけるのか、企業から出し続けていく必要があるのか。

産業センター：共同研究講座については、コンソーシアムが負担していく形で考えている、ただし、今後、航空産業も含めていわゆる信州大学の機関の中に組み込まれていけば、信州大学が経費を持つ面も出てくるかもしれないが、現状、具体的な検討には至っていない。

高森町：これは要望だが、企業版ふるさと納税を活用されるということだが、地域内の企業だけでは、あまり意味がない。圏域外の企業にどれだけPRして、賛同していただける企業を増やすかが課題。是非、圏域外の企業に賛同していただけるよう努力していただきたい。

産業センター：地域内だけでなく、圏域外の企業に対しても賛同を得られるようPRしていきたい。

#### (2) 新型コロナウイルス感染症対策について （資料なし）

連合長：内部会議において、飯田市では高校3年生にあたる年代について先行配布したが、他の町村についても、希望があれば早期に接種できるよう足並みを揃えていくと決めた。この他、なにかありますか。

保健福祉事務所長：ワクチンの供給が少ないのもあるが、比較的20代～40代の希望者が少ないようにも感じる。是非、ワクチン接種について接種者が増えるよう併せて呼びかけもして欲しい。

豊丘村：高齢者の接種が進む中、施設職員の接種も早期に必要と考える。

保健福祉事務所長：優先接種の中で順序は難しいところではあるが、スピード感を持って進めていきたい。

大鹿村：接種者が増えてきている中、経済の活性化も考えていかなければならない。

連合長：このような社会情勢であり、節度をもってということは重要だが、我々としても今後さらに接種が進むうえで、地域の活性化に向けて力をいれていかなければならない。

(3) ひだまりの郷あなん 令和2年度事業報告について 【ひだまりの郷あなん 阿南学園施設長】

～資料No. 2～

ア 利用者の状況

- ・入所者数については、施設入所の定員80名のところ、年度当初61名の現在員。
- ・入所者の平均年齢は、男性56.5歳、女性63.4歳。
- ・平均在所期間は、27年3か月。

イ 安全対策

- ・毎月避難訓練実施。地域住民や消防、警察等にご協力いただき夜間避難訓練は新型コロナウイルス拡大防止のため、延期した。
- ・総合防災訓練については、9月に実施。区長、消防、警察と協力し、火災のみでなく土砂災害や地震災害を想定した訓練を実施した。

ウ 虐待防止委員会

- ・令和2年度において、虐待事案なし。
- ・虐待防止対策として、職員行動規範を朝礼時に読み合わせし、利用者やご家族に対する態度や姿勢等について再確認している。
- ・虐待防止伝達研修の8名の職員が講師となり、職員とグループホームの世話人対象に講習実施。
- ・職員のメンタルヘルスについて、産業カウンセラーが来所し、カウンセリング実施。

エ 危機管理委員会

- ・過去のヒヤリハット事例を確認。職員会議や職員同士の話し合いの場を設け再発防止に努めた。

オ 行事

- ・新型コロナの影響により例年行っていた行事が中止となる中、創意工夫して、出来るものは内部のみで開催した。利用者さんにも満足して頂くことができた。

カ その他

- ・栄養、調理面については、個々に合わせた食事内容の設定を継続するとともに、季節感のある食材を取り入れた食事の提供を心掛けた。
- ・新型コロナ等の感染症対策を徹底し、新型コロナ、感染性胃腸炎、インフルエンザ等の発生はなかった。

→ 質疑等なし

(4) 循環型社会形成推進地域計画目標達成状況について 【飯田環境センター事務所長】 ～資料No. 3～

ア 経過

- ・稲葉クリーンセンター施設整備事業に国の交付金を受給するため、循環型社会形成推進地域計画の作成が必須でありH25年に作成した。今回、当該地域計画期間の終了（令和2年度）後、目標達成状況（自己評価）を行い、環境省へ報告するもの。

イ 目標の達成状況に関する評価（自己評価）

①ごみ処理

- ・生活系の総排出量は、現状の 10.3%減の目標を達成することができたが、一人当たりの排出量は増加してしまい、目標達成には至らなかった。
- ・事業系の総排出量及び1事業所当たりの排出量は、現状から増加し、目標達成には至らなかった。
- ・再生利用量、総資源化量ともに現状から大きく減少し、目標達成には至らなかった。
- ・エネルギー回収量は、新ごみ処理施設「稲葉クリーンセンター」の供給開始に伴い増加し、目標値を大きく上回ることができた。

②生活用水

- ・公共下水道、集落排水施設等、合併浄化槽等については、目標達成には至らなかったが、公共下水道については、人口の減少（実績／現状＝92.1%）の中で目標に近づいた。

ウ 目標達成に向けた今後の方策

①事業系排出量について

- ・引き続き展開検査を実施し、適切な排出方法について周知徹底を行う。

②生活系排出量について

- ・引き続き可燃ごみの分別状況の調査を実施し、資源となるプラスチック類の分別や生ごみの水切り等の啓発を行い、ごみの減量を図る。
- ・3R（リデュース、リユース、リサイクル）のPRを行い、一人ひとりの循環型社会の推進意識の向上を図る。

③再生利用量について

- ・可燃ごみの分別状況の調査を実施し、資源となるプラスチック類の適正な排出や3R意識の向上の啓発を行う。

④生活排水

- ・引き続き計画的に浄化槽等の整備を進める。

（主な意見等）

高森町：資料では、計画策定時（H23）の数値と、令和2年の実績数値しかないため、間の経過が分からない。単年度だけで影響している面もあるのか。例えば、令和2年度については、新型コロナウイルスの影響により各家庭等のごみの消費が増加した等。  
また、今後については、国の調査の結果が終わってしまったら、このようなデータはとっていかないのか。

飯田環境センター：ご指摘のとおり、新型コロナウイルスの影響によりごみの排出量が増えた面もある。今後についてもこれで終わりということではなく、毎年度数値は出していくとともに報告していきたい。

副管理者：各年度の数値については毎年算出し、地元の連絡協議会や広域連合議会で報告している。年ごとの比較資料についても用意できる。

高森町：全国の人口当たりのごみ消費の少ないランキングで、下伊那の町村はトップ10にその名を連ねている。そういったことも含めて、どのようにごみの減量化を図るのか方向性を持って取組んでいかないと厳しいと思う。なにか良い案が出ることを期待している。

(5) ドキュメンタリー映画「シルク時空をこえて」上映会の開催について 【事務局長】 ～資料No.4～

ア 開催日時

令和3年7月29日（木）14時30分から16時30分まで

イ 会場

シルクホテル

ウ その他

上映については、完全予約制で実施する。参加について希望がある場合は29日までに報告願います。  
→ 質疑等なし

(6) 2020 東京パラリンピック採火式 in 南信州について 【飯田市福祉課長補佐】 ～資料No. 5～

\* 8月24日から東京パラリンピックが開催される。それに先立ち、8月12日～16日の日程で、「聖火フェスティバル」を各都道府県において実施。長野県内の聖火は、県内各圏域で採火された火が長野市に集火される。飯伊圏域については、次のとおり開催する予定。

ア 日時：8月12日（木） 17：30～18：15（17：40 ころ採火）

イ 場所：ふれあい公園（飯田市福祉会館 さんとびあ飯田 東側）

ウ 内容及び目的

竹灯篋で「結」の文字を形づくり、竹宵を実施。聖火はその竹宵の火から採火する。飯伊圏域の障がいのある方々が装飾した竹灯ろうに灯がとり、幻想的な美しい世界を作り出す。採火後には地元の子供たちの合唱も企画している。

竹宵のひとつひとつの小さな灯が集まって一つの作品を形づくるように、障がいの有無に関わらずひとりひとりが地域社会の一員として認められ、それぞれの個性で輝ける、共生社会の実現を目指すことを目的とする。

エ 採火者：電動車いすサッカー元日本代表 飯島 洸洋さん  
南信州広域連合長

→ 質疑等なし

(7) 飯田広域消防本部から 【消防長、飯田消防署救助係長】 ～資料No. 6-1, 6-2, 6-3, 6-4～

ア 火災発生状況について

・ 7月13日現在、火災は7月に3件。3件の原因については、自然発火を疑うものが1件と、先日の落雷によるとされているものが2件。

イ 上半期の消防統計の概要について（令和3年1月1日～6月30日）

・ 火災 44件（昨年比 △6）、救急 3,263件（昨年比 +93）、救助 38件（昨年比 △1）

・ 火災の主な特徴は、最近5年間で最も少ない件数ではあるが、建物火災の件数は増加している。

・ 救急の主な特徴は、前年同期比93件増加し、1日平均では18件の出動。うち、搬送した人員は3,130人。搬送者の67.6%は急病によるもので高齢者の割合は75.0%となっている。また、心肺停止傷病者98人のうち、住民による応急手当が実施されていたのは、82人（実施率87%）。救命講習会受講者は1,657人で前年同期比797人増となっている。

・ 救助の主な特徴は、前年と比べ水難事故や火災への出動が増加している。逆に交通事故や山岳事故は減少している。

ウ 静岡県熱海市土石流災害 飯田広域消防本部緊急消防援助隊の活動報告について

・ 災害概要

発生日時：令和3年7月3日

発災場所：静岡県熱海市伊豆山付近

被害状況：行方不明者11人、死者18人（7月9日13時00分現在）

・ 飯田広域消防本部の派遣状況

第1次隊～第4次隊の8隊28名を派遣（長野県隊としては、100隊420名）。

\* 現地での活動状況等について（第1次派遣隊 救助隊長から）

事前に映像等で現地の様子は確認していたが、実際の現場は、何台もの車両や建物が原形をとどめない状態で押し流されており、想像を遥かに超える悲惨な光景であった。長野県隊の担当区域についても、約3m堆積した土砂で覆われ重機も入れず、正直どこから手をつけて良いかわからない

ような状態であった。

あてもなく土砂を掘り続ける先の見えない活動は、隊員の疲労が溜まるばかりで効率が上がらなかったが、行方不明者はこの辺りに居ましたといった少しの情報が入ることにより、隊員が再び集中し作業効率が格段に上がった。安否情報等、情報の早期把握の重要性を感じた。また、地域住民が相互に関わり、いざという時は、救助隊等に情報提供できるように平常時から助け合える関係を築いておくことが重要だと感じた。

今回の活動を通して、土砂・風水害の現場において有効と思われる資器材は、スコップ等の土砂を掘り出す資器材は当然のこと、ぬかるみ現場を移動する道づくりや作業する足場の確保、また土砂の流入を防止するための土留めとして、コンパネが非常に有効な資器材であり、今回の現場でも大量に現場投入された。

本災害を経験しての救助隊の取組みとしては、今後、当地域が受援を受ける立場となった際に、応援隊が円滑に活動できるような受援体制を救助隊の視点からも研究していきたい。

\* 今回の応援派遣、活動を通して感じたこと（消防長）

住民基本台帳を中心とした安否確認の重要性。隊員からも報告があったが、現場はどこから手をつけて良いかわからない状態。一般的には、家があったら家の付近を探すが、元々どこにいらした方が土石流に巻き込まれたかによって違ってくこともある。そのようなことを考えると、今回3日後に64名の方の氏名が公表されたが、そういったことが安否確認の中で必要だと感じるし、一早い救助活動に繋がるであろう。

また、現在、気象庁の中では、非常に精度の高い気象情報が発信されている。5月に出されている中では、「土砂キキクル」や「浸水キキクル」といった土砂災害の危険度分布図を地図上ですべての方がアプリケーションで閲覧できる情報がある。この情報については、非常に評価していて、飯田広域消防においても、今まで土砂災害警戒情報等の警報が発令されたタイミングで動いていたが、現在については見直しを図り、キキクルで動きを予測し、早めの体制づくりをするようにした。元々キキクルは、一般住民の方々が確認し、個人が個人の責任で避難をするための材料にしてくださいということで気象庁が公表したのもであるため、ハザードマップの確認と併せて、住民の方々に広報していく必要があると感じた。

エ 第39回長野県消防救助技術大会の結果について

期日：令和3年6月19日

会場：長野県消防学校

結果：7種目に21名が参加。個人種目含5チーム10名が入賞を果たした。

また、うち2チーム5名については、各種目で1位であったが、新型コロナウイルスの影響等により上位大会である関東地区指導会及び全国大会が中止となったことから上位大会への出場は叶わなかったが、長野県大会での優勝は、飯田広域消防では、平成19年以来の快挙となった。

オ 熱中症疑いによる救急搬送の状況について

- ・本日までに26名の方が熱中症疑いで搬送（昨年同日比+6名）。
- ・特に屋外での熱中症発生が14人と、昨年と比較し7名の増加となっている。
- ・住民の皆さまへチラシの配布や広報を実施し、熱中症予防に努めていきたい。

→ 質疑等なし

(8) 南信州いいむす21登録判定について 【事務局広域振興係長】 ～資料No.7～

- ・更新2件

【ダイワ設備株式会社 飯田工場 (68pt ★×7)】

- ・評価のポイントとして、廃棄物処理量、紙使用量、エネルギー使用量について、その推移がわかりやすくグラフでまとめられている。また、環境一斉行動習慣の取組みの呼びかけや、省エネの徹底事項

について社内打合記録簿を使い、記録として残し管理されている。

【クロダ精機株式会社 飯田工場 (58pt ★×6)】

- ・評価のポイントとして、事業所として「長野県SDGs推進企業登録制度」に登録するなど早期にSDGs(持続可能な開発目標)の重要性を鑑み、取り組まれている。
- ・電気、水道、灯油、紙のエネルギー使用量を盛れなく記録しており、日常業務の中でのCO2削減に取り組まれている。

→ 異議なし。承認となる。

(9) 共催依頼について 【事務局庶務係長】 ～資料No.8～

\*大規模災害の教訓に学ぶ防災研修会

目的：災害時に住民の生命、身体、財産を守る自治体職員を対象に、過去に大規模災害を経験した者の体験談の聴講等を内容とした研修会を開催し、防災・減災に対する備えや新たな気付き等を共有することにより、防災に対する意識の高揚を図り、地域防災力の向上に資するもの。

日時：令和3年8月6日(金) 14:00～16:00

場所：飯田広域消防本部 大会議室

(10) 後援依頼について 【事務局庶務係長】 ～資料No.9～

\*飯田市役所庁舎太陽光発電地域還元事業 みる・まなぶデジタル地球儀「スフィア」「地球環境のいま、そして未来」(仮)

内容：飯田市役所庁舎の太陽光発電事業の屋根賃料を活用して、地域の子供たちが地球環境の変化や自身で取り組む環境活動を考える学習会とする。環境学習を学ぶツールとして、デジタル地球儀「スフィア」を用いて、視覚的に地球環境変化を捉えて学ぶ研修とする。

日時：令和3年8月9日(月)～8月11日(水)

場所：飯田市旧飯田測候所

→ 異議なし。承認となる。

(11) その他 【事務局次長】

- ・8月10日(火)に予定されている伊那谷 de キャリア教育研修会について、振興局を通じて各町村にご案内がいていると思うが、まだ若干の余裕があるため、是非積極的な参加をお願いしたい。

4 長野県から

\*南信州地域振興局

新型コロナウイルスについて、今後夏休みやお盆の時期を迎えるにあたり、県からのお願いということで通知している。周知していただき、感染拡大防止を図っていただきたい。

\*飯田建設事務所

7月15日に開催された、県議会の危機管理建設委員会にご協力いただき感謝します。南信州については本当に住みやすく良い地域ではあるが、まだ整備や開業が必要な面もある。今後も引き続きご理解ご協力いただきたい。

5 当面の日程について

令和3年7月27日(火) 長野県南部国道連絡会理事会・総会・国道整備状況説明会

令和3年7月29日(木) ドキュメンタリー映画「シルク時空をこえて」上映会

6 その他  
特になし

7 閉会…16 : 15